

トウヨウダナエテントウダマシ 三木市口吉川町にて採集

(兵庫県甲虫相資料・192)

高橋寿郎

トウヨウダナエテントウダマシ *Danae orientalis* (Gorham, 1873) は Gorham が G. Lewis 採集の Hiogo 産 (当時の表現で現在の神戸市) 2 頭の標本で *Coniopoda orientalis* と記載された種である (Ent. Month. Mag. V. ol. IX: 205, 1873) (日本と九州に分布とも記している)。その後再び Gorham は日本産のテントウムシダマシ科の改定版を発表 (Proc. Zool. Soc. London. No. XLIII, 1887)、その p. 643 で *Danaë orientalis* と訂正しておられる。Hab. KIUSHIU: Nagasaki, Ichiuchi, Kobe となっている (日本の地理が良く理解出来ていなかったのであろう)。そして “*D. orientalis* occurs in haystack-refuse in early spring” と記している。

1931年太田勇愛氏は日本産テントウダマシに関する論文を発表された (Jour. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. Vol. xxx, pt. 4: 205-242, pl III)。その p. 230 に *Danaë orientalis* Gorh. として産地を Honshu (Ichiuchi, Kobe, Hyogo)、Kiushu (Nagasaki) とされている。

1939年の中條道夫博士の名著 “日本動物分類・偽瓢虫科” では図説されたが (p. 121-122)、日本特産種とされ G. Lewis 採集の九州産 3 頭によるとされている。同年神谷一男氏はカラー図説をされ分布は本州及び九州とされ新たに隠岐島を加えられた (日本の甲虫、Vol. III, No. 1, pl. 1, fig. 3, p. 2)。

1942年黒佐和義博士は奈良市春日山、神戸市灘区 (六甲山麓、lex., 20-III-1937)、鳥取県大山の産を示された (昆虫界 Vol. x, No. 97, p. 161)。

1980年には佐々治寛之博士が “日本産テントウダマシ科概説” をまとめられ (甲虫ニュース No. 51, p. 2) その中で本種の分布を本州、四国、九州に新たに北海道を加えられた。

原色昆虫大図鑑には中根猛彦博士による図説があり (pl. 107, f. 4, p. 214, 1963) (分布は本州、九州)。ごく新しくは佐々治寛之博士による原色図説がある (原色日本甲虫図鑑 III, pl. 39, f. 12, p. 240-241, 1985)。こちらでは分布を北海道、本州、四国、九州とされている。

比較的分布は広くそれ程珍しい種ではないのだが兵庫県に関しては原記載以後上記黒佐博士の六甲山の記録 (石の下より採集) があるだけでかなり数少ない種の一つになっている。生活史がわかっていないものだから採集することが難しいからだとも思われるが 1986年 5月 16日 三木市の口吉川町、桃坂の北東、八木龍王社に致る途中で叩網で 1 頭採集することが出来た。長期間再発見されていなかっ

ただに大変うれしいと同時にこのあたりでピットホールトラップなどを設置すればさらに或はもっと採集が出来るかとも思ったりしている。とりあえず記録として報告しておく。

(AUG. 1986)

ラミーカミキリ豊岡市上佐野に多産

(兵庫県甲虫相資料・193)

高橋 寿郎

ラミーカミキリ *Paraglenea fortunei* Saunders は既に本州での分布もかなり広がっているし兵庫県下でもほぼ全域に産し極めて普通種になっているので今更分布に関する報告でも無いと思うのだが但馬地域での分布は美方郡、養父郡あたり割合あるが豊岡付近での報告はあまりしらない。僅に日高町阿瀬溪谷での記録はあるが(加野、1982)、恐らくこのあたりにも広く産するのであろうと考えられる。1986年6月19日豊岡市の上佐野で採集する機会を得てその時本種は非常に多くいたので一応報告だけしておきたい。場所は上佐野からかなり西北方へ入った道路ぞいにカラムシが多くありその上に本種が多数発生していた。一応3♂2♀のみ採集しておいたがこのあたりには相当産しているようだった。

尚当日豊岡市の奥岩井で飛翔中のクロホシタマムシ *Ovalisia virgata* (Motschulsky) 1♂を降谷幸雄氏により採集された(標本筆者保管)。こちらも既に高橋 匡氏により豊岡市伊賀谷の記録があるので(1982)(近くでは城崎郡香住からの記録もある。黒沢、1976)別にどうと云うことはなく最近谷角、足立両氏によって(1985)美方郡での記録が多く報じられていたりしているがいつれにしても県下では珍しい種の1つであろう。

(JAN. 1987)